様式第１号（第３条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年11月28日

里地・里山環境保全活動団体認証申請書

　　和歌山県知事　様

 申請者 団　体　名（特）自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

　　　　　 　　　　　 代　表　者　理事長　北原敏秀　　　　 　印

　　　　　　　　　　　　所在地　　　和歌山県海南市高津1082

　　　　　　　　　　　　電話番号　　０７３（４８８）０７１２

　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ番号　０７３（４８８）０７１２

　このことについて、里地・里山環境保全活動の認証を受けたいので、里地･里山環境保全活動団体認証制度実施要綱第２条第１項の規定により申請します。

（添付書類）

団体概要（様式第２号）

　　構成員名簿（様式第３号）

　　活動実績（様式第４号）

様式第２号（第３条、第５条関係）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | 　 | 　 |
| 団　体　概　要 |
| 　 | 　 | 　 |
| 団体名 | 　(特)自然回復を試みる会・ビオトープ孟子 |
| 代表者氏名 | 　理事長　北原敏秀 |
| 所在地 | 〒640-0451和歌山県海南市高津１０８２ |
| 連絡先 | （電話）０７３－４８８－０７１２（FAX） ０７３－４８８－０７１２ |
| 設立年月日 | 　　平成１０年　　２月　　１日 |
| 団体の構成人数 | 　４０名 |
| 設立目的 | 　和歌山県海南市孟子不動谷内の放置水田を活用し、水辺ビオトープ（とんぼ池）の設営及びモニタリング調査活動、無農薬稲作及び炭焼きによる里山保全活動を行いながら、小中学生の環境学習、大学生の調査研究の実践と調査拠点の提供を目的としています。 |
| 受賞歴等 | 　2003年4月　和歌山県環境大賞　2004年5月　環境大臣表彰・全国里地里山30選　2006年1月　農水省・農村環境センター田圃再生復活活動表彰　2010年3月　日本ユネスコ協会連盟第1回プロジェクト未来遺産登録　2010年6月　和歌山県知事表彰　2011年4月　内閣総理大臣表彰 |
| 担当者 | 氏名 | 　理事　有本　智 |
| 連絡先 | 　〒642-0022　和歌山県海南市大野中995-2　海南市わんぱく公園　　TEL　073（484）5810 |
| （注）法人にあっては、定款を添付すること。 |
|  |

様式第３号（第３条、第５条関係）

|  |
| --- |
| 構　成　員　名　簿 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 役職 | 　 | 生年月日 | 居住市町村 | 性別 |
| 理事長 | 　北原敏秀 | 昭和23年8月5日 | 　海南市 | 　男 |
| 理事　 | 　有本　智 | 昭和40年3月8日 | 　紀の川市 | 　男 |
| 理事 | 　丸嶋康行 | 昭和11年11月10日 | 　和歌山市 | 　男 |
| 理事 | 　江川公博 | 昭和31年3月31日 | 　和歌山市 | 　男 |
| 理事 | 　住野琇明 | 昭和14年6月1日 | 　海南市 | 　男 |
| 監事 | 　北原実恵子 | 昭和28年8月30日 | 　海南市 | 　女 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| （注）役職は、代表者、代表者の代理、会計担当者、事務担当者等を記入すること。 |
|  |
|  |

様式第４号（第３条、第５条関係）

活　動　実　績

|  |  |
| --- | --- |
| １ 活動地域 | 　和歌山県海南市孟子不動谷 |
| ２ 保全対象の生態系 |  別紙１参照 |
| ３ 活動期間 | 　　　　　1998年2月　～　　2016年11月 |
| ４ 活動の概要 | 　別紙２参照 |
| ５ 活動地域の状況と課題 |  海南市孟子不動谷の位置する海南市北野上地区は、農業従事者の高齢化に伴う耕作放棄地の増大の傾向があります。孟子不動谷では、未来遺産登録を機に発足した子どもたちによる調査研究活動を今後も恒久的に継続していための運営組織の強化に向けての取り組みを進めていきます。 |
| ６ 活動に対する学識経験者の意見等 |  鷲谷いづみ中央大学大学院教授には、平成22年の未来遺産登録前調査の際に現地を訪問いただき、無農薬水田内の稲作雑草類の多様性について好評をいただいているほか、県下の学識経験者の皆様にも里山自然のポテンシャルの高さを評価していただき、和歌山県レッドデータブックにも記載をしていただいています。 |

（注）１　「活動地域」欄には、市町村名・大字名を記載すること（複数の市町村にわたる場合は、全てを記載）。

２　「保全対象の生態系」欄には、水田、川、里山（森・林等）、沼、海岸等を記載すること。

３　「活動地域の状況と課題」欄には、活動前後の地域の写真等があれば添付すること。

４　「活動の概要」欄には、直近５年間分の主な事業について記載することとし、実施年月及び参加者数を必ず明記

すること。

５　活動地域が分かる地図・図面等を添付すること。また、活動内容の分かる資料として、新聞記事、書籍、パン

フレット、団体の広報誌等があれば、添付すること。

（別紙１）　　海南市孟子不動谷の生態系

（概要）海南市孟子不動谷は、海南市の東北部、紀の川市との県境に位置する耕作

面積6.8haの里山谷戸環境です。谷内にある天堤池、不動池、犬飼池の３

つの溜池を中心とした数個の溜池及び谷の中心を東西に流れる貴志川の

支流・荒糸川の水を活用した水田地帯で、谷に形成される雑木林は薪炭林

由来のクヌギ・コナラ・ヤマザクラ等落葉広葉樹を中心とした落葉広葉樹

林です。

（植生）森林は50年前まではかなり活発に薪炭林として活用されていたことが偲

ばれる落葉広葉樹優占の森林で、樹林構成樹種はクヌギ、コナラ、ヤマザ

クラ等で、そこに周辺の極相樹と考えられるツブラジイ、アラカシ等の常

緑広葉樹が混交しています。50年間間伐その他の里山管理が滞っているこ

とに起因し、下層にヒサカキ、サカキ、ヤブツバキ、カナメモチ、ネズミ

モチ等の常緑広葉亜高木が生育し、発達の良い二次林となっています。

水田耕作を行う平地は、当法人が里山保全活動の一環として水辺ビオトー

プ（とんぼ池）、無農薬水田として活用している以外の場所は年々放置水

田化が進行し、ガマ、ホタルイ、タコノアシ等が自生する湿草地、セイタ

カアワダチソウが優占する高茎草地等に遷移しています。

＜希少植物の分布状況＞

平地には、水田周辺の湿草地を生育環境とするタコノアシ、ミズオオバコ

、ハンゲショウ等が自生しています。溜池の堤体には、スズサイコ、フナ

バラソウ、キキョウ、ツリガネニンジン、ワレモコウ、サワヒヨドリ、タ

ムラソウ等の草本類が自生しています。

雑木林の林床には、エビネ、キンラン、ギンラン、イチヤクソウ、フモト

スミレ、シハイスミレ、ナガバノタチツボスミレ、ササユリ等の美しい花

を咲かせる草本類が自生しています。

（動物相）

　　哺乳類

　　　孟子不動谷にはジネズミ、ヒナコウモリ、モモジロコウモリ、コキクガシラ

コウモリ、ジネズミ、カヤネズミ、ヒメネズミ、アカネズミ、ハタネズミ、

ニホンリス、ワカヤマムササビ、キツネ、タヌキ、ニホンイタチ、テン等の

在来種に加えて、混血ザル、イノシシ（イノブタ）、アライグマ、チョウセ

ンイタチ等の移入種の生息も確認されています。イノシシ（イノブタ）によ

る農作物の食害被害は著しく、谷内の水田耕作に大きな影を落としています。

　鳥類

　　孟子不動谷では平成10年以降の調査により120種を超える鳥類の確認がな

されています。中でも特筆すべきは、森林性の夏鳥の繁殖数の多さです。ハ

チクマ、サンショウクイ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、サンコウチ

ョウ、クロツグミ等が、ほぼ毎年のように繁殖が確認されており、近年、ヤ

イロチョウ、アカショウビンの長期滞在も確認され、県下随一の夏鳥の宝庫

となっています。

　　両生爬虫類

　　　ビオトープ孟子が谷奥の放置水田に設営し管理している水辺ビオトープは、

　　　和歌山県レッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類・ニホンアカガエル（あかがえる

　　　科）の県下随一の繁殖地で、毎年２月中旬には100個を優に超す卵塊が確認

　　　できます。その他、カスミサンショウウオ、トノサマガエル、ツチガエル等

　　　和歌山県レッドデータブックに記載のある両生類が良好に生息しているほ

　　　か、和歌山県下で確認されているヘビ類全種の記録があります。

　　昆虫類

　　　孟子不動谷の昆虫類で最も特徴的なのはトンボ類で、平成10年以来のモニ

タリング調査により67種のトンボ類が記録されています。犬飼池には、日

本特産種で、瀬戸内海沿岸特産種・ナニワトンボが多産しています。本種は、

山間の自然状態の良い溜池に生息するアカトンボ類で、溜池の多い北野上地

区の環境条件をよく現したモデル的な種類といえます。その他も、オグマサ

ナエ、フタスジサナエ、タベサナエ、ニホンカワトンボ、ベニイトトンボ、

アオヤンマ、ネアカヨシヤンマ、ハネビロエゾトンボ等の希少種の記録もあ

ります。

トンボ類以外で特筆すべき種は、ミドリシジミ、ウラナミアカシジミ、クロ

カタビロオサムシ等の森林性の種や、ハネナシアメンボ等の湿地性の種が確

認されています。

　　魚類

　　　孟子不動谷の放置水田の稲作水系（水の循環）を復元するために設営・管理

　　　している水辺ビオトープ（とんぼ池）には、ミナミメダカが多産しています。

　　　また、貴志川支流の小河川・荒糸川には、ヌマムツ、モツゴ、シマヨシノボ

　　　リ、トウヨシノボリ、ドンコ等の淡水魚類の生息が確認されています。天堤

　　　池、不動池、犬飼池等の溜池には、移入されたものと考えられるコイのほか、

　　　モツゴ、シマヨシノボリ等の淡水魚が生息しています。

（別紙２）活動の概要

1. 平成２４年度事業
2. 法人独自事業

　　　平成２４年　７月　８日

第13回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園　30名参加

　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　平成２５年　１月　６日　七草粥（わんぱく公園にて）　　　56名参加

　　（２）助成事業

　Ⅰ、　日本たばこ産業株式会社助成及び地球環境基金助成

　　　　平成２４年度は、上記２助成を賜り、県立向陽中学校理科部の平成24年

度未来遺産調査活動及び、年度末における未来遺産フォーラムの開催を行いました。

　　　（事業内容）

* 1. 現地（孟子不動谷）調査及び一般参加観察会

　　　　平成24年　４月２１日　23名参加　　未来遺産調査（鳥類調査）

　　　　平成24年　５月１９日　28名参加　　未来遺産調査（ｺｻﾅｴ属調査）

　　　　平成24年　６月　３日　16名参加　　未来遺産調査（水田生物調査）

　　　　平成24年　６月１０日　47名参加　　一般参加観察会

　　　　　　　　　　～早乙女衣装を着て孟子不動谷で田植えをしませんか？～

　　　　平成24年　６月２３日　9名参加　　 一般参加観察会

　　　　　　　　　　～ホタル観賞会～

　　　　平成24年　７月２２日　45名参加　　未来遺産調査（とんぼ池調査）

　　　　平成24年　８月１８日　36名参加　　未来遺産調査（水田生物調査）

　　　　平成24年　8月３０日・３１日　4名参加

環境学習・学生研修（和歌山大学）

　　　　平成24年　９月１６日　17名参加　未来遺産調査（アカトンボ類調査）

　　　　平成24年１０月２１日　16名参加　未来遺産調査（アカトンボ類調査）

　　　　平成24年１１月１１日　14名参加　一般参加観察会（とんぼ池観察会）

　　　　平成24年１２月２２日　12名参加　未来遺産調査（鳥類調査）

　　　　平成25年　１月２７日　11名参加　未来遺産調査（鳥類調査）

　　　　平成25年　２月　９日　12名参加　未来遺産調査（早春両生類卵塊調査）

　　　　平成25年　３月２０日　9名参加 　未来遺産調査（キビタキ用巣箱設置）

* 1. 孟子不動谷休耕田の畦畔溝及び荒糸川の圃場整備作業

　　　　（作業実施者）　波多野工務店

　　　　（作業内容）　　畦畔溝掘削

　５．５日（平成25年2月4日～2月9日）

　　　　　　　　　　　　荒糸川整備　　　１．０日（平成25年2月25日）

* 1. 第2回プロジェクト未来遺産　生物多様性フォーラム

（開催日時）　平成25年3月2日　　13:00～16:30

　　　（開催場所） きのくに志學館２階メディアアートホール

　　　（参加者）　100名

　　　（内容）　第1部　研究発表　・県立向陽中学理科部（未来遺産調査）

　　　　　　　　　　　　　　　　　・和歌山大学ｼｽﾃﾑ工学部（イシガメ調査）

　　　　　　　　　　　　　　　　　・県立海南高校科学部（ナニワトンボ調査他）

　　　　　　　　第2部　パネルディスカッション

　　　　　　　　　　～テーマ～　生物多様性保全の波を県下に広めるために

　　　　　　　　　　～ﾊﾟﾈﾗｰ ～

寺尾明人　(社)日本ユネスコ協会連盟次長

　　　　　　　　　　　須田真一　東京大学農学生命科学研究科特任研究員

　　　　　　　　　　　中島敦司　和歌山大学システム工学部教授

　　　　　　　　　　　福井　大　和歌山大学地域創造支援機構特任助教

　　　　　　　　　　～司会進行～有本　智　（特）ビオトープ孟子理事

　Ⅱ、緑の募金事業・特定公募事業「国民参加による間伐材及び間伐材の利用促進事業」

　　（事業目的・概要）

　　　　海南市北野上地区の放置薪炭林の間伐・林内整備を行い、クヌギ材を活用して菊炭及び割炭を焼き、間伐後の林にクヌギ苗を植栽することにより、落葉広葉樹林を活性化する。

　　（事業場所）

　　　　和歌山県海南市

　　（事業の具体的な目的）

　　　　海南市北野上地区には薪炭林由来と思われるクヌギ、コナラ、ヤマザクラ等優占の落葉広葉樹林が多くあります。しかし、近年の温暖化により植生遷移が進行し、下層に常緑樹やタケ類の浸潤が多くなり、かつての里山林の状態ではなくなりつつあります。

　　　　当事業では、北野上地区内の放置薪炭林１haを選定し、クヌギの伐採を

行い、割炭及び菊炭焼きを行い、その後、伐採した場所に新たにクヌギの植樹を行うことにより、里山の落葉広葉樹林の活性化を行うことを主目的とします

　　（事業全体期間）平成２４年　７月　１日～平成２７年　６月３０日（3か年）

　　（当年度期間）　平成２４年　７月　１日～平成２５年　６月３０日

（３）指定管理事業

　　　　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

　　　　　　　（業務期間）　平成２４年　４月　１日～平成２５年　３月３１日

　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、坂本禎男、芝　正純、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　　　　　高橋久富

　　　　　　　　　　　　　NPO職員 高橋静雄

　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

　　　　　　　　　　　　　　県立海南高校ＳＳＨ研究受入

　　　　　　　　　　　　　　　（１）ナニワトンボ生息調査

　　　　　　　　　　　　　　　（２）キノボリトタテグモ巣数調査

　　　　　　　　　　　　　　　（３）ツメレンゲ・クロツバメシジミ調査

　　　　　（１）和歌山県環境学習アドバイザ委託事業

（丸嶋理事、住野理事、有本理事）

平成24年4月27日

県立向陽中学２年春の遠足受入　　丸・住・有

　　　　　　　　平成24年5月9日　　 紀の国子どもの村学園環境学習　　有

　　　　　　　　平成24年6月20日　　紀の国森づくり塾講師　　　　　　有

　　　　　　　　平成24年7月11日･12日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　国際青年育成交流事業　　　　　　有

　　　　　　　　平成24年7月13日　　有功東小学校環境学習　　　　　　有

　　　　　　　　平成24年8月21日　　安楽川小学校環境学習　　　　　　有

　　　　　　　　平成24年9月3日　　 中貴志小学校環境学習　　　　　　有

　　　　　　　　平成24年10月23日　北野上小学校環境学習　　　　　　有

　　　　　　　　平成24年10月20日　JAF和歌山会員事業（自然観察）　有

　　　　　　　　平成24年11月6日　　有功東小学校環境学習　　　　　　有

1. 平成２５年度事業
2. 法人独自事業

　　　・第14回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園　平成25年7月７日

30名参加

　　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　・七草粥（わんぱく公園にて）　　　平成26年1月５日　　　52名参加

　　　・早乙女田植え体験　　　　　　　　平成25年6月16日 　　45名参加

　　　・未来遺産プロジェクト　県立向陽中学理科部

　　　　（テーマ）孟子不動谷のトンボ相調査

　　　　（実施内容）平成25年4月～平成26年2月の間１回/月のスパンで調査を行いました。

　　　　　　　　　　平成25年4月～平成25年11月・・・不動谷内のトンボ成虫の個体数調査

　　　　　　　　　　平成25年12月～平成26年2月・・・天堤池及びとんぼ池のヤゴ調査

　　（２）助成事業

　Ⅰ、　あいおいニッセイ損保助成

* 1. 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第3回生物多様性フォーラム

（開催日時）平成26年3月9日　1部11:00～12:30　2部13:00～16:00

（会場）貴志川生涯学習センターかがやきホール

（参加者）500名

（開催内容）

1. 基調講演「日本における生物多様性保全の現況について」

　　　　　　　　　講師：鷲谷いづみ氏（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

1. オープニング：社会福祉法人ながやま保育園和太鼓演奏

研究発表　　：県立向陽中学校理科部

和歌山大学システム工学部

　　　　　　　県立海南高等学校科学部、県立向陽高等学校

　　　　　　　県立桐蔭高等学校、海南市立北野上小学校

パネルディスカッション

　（パネラー）鷲谷いづみ　　東京大学大学院教授

　　　　　　　寺尾明人

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟次長

　　　　　　　須田真一　　　東京大学特任研究員

　　　　　　　中島敦司　　　和歌山大学教授

　　　　　　　原　祐二　　　和歌山大学准教授

　　　　　　　千坂げんぽう

法定協議会久保川ｲｰﾊﾄｰﾌﾞ自然再生協議会長

　Ⅱ、緑の募金事業・特定公募事業「国民参加による間伐材及び間伐材の利用促進事業」

　　（事業目的・概要）

　　　　海南市北野上地区の放置薪炭林の間伐・林内整備を行い、クヌギ材を活

用して菊炭及び割炭を焼き、間伐後の林にクヌギ苗を植栽することにより、落葉広葉樹林を活性化する。

　　（事業場所）

　　　　和歌山県海南市

　　（事業の具体的な目的）

　　　　海南市北野上地区には薪炭林由来と思われるクヌギ、コナラ、ヤマザクラ等優占の落葉広葉樹林が多くあります。しかし、近年の温暖化により植生遷移が進行し、下層に常緑樹やタケ類の浸潤が多くなり、かつての里山林の状態ではなくなりつつあります。

　　　　当事業では、北野上地区内の放置薪炭林１haを選定し、クヌギの伐採を行い、割炭及び菊炭焼きを行い、その後、伐採した場所に新たにクヌギの植樹を行うことにより、里山の落葉広葉樹林の活性化を行うことを主目的とします

　　（当年度期間）　平成２５年　７月　１日～平成２６年　６月３０日

　　　　　　　　　☆平成26年2月22日　間伐体験　　参加者15名

　　　　　　　　　☆平成26年3月22日　クヌギ植樹　参加者10名

（３）指定管理事業

　　　　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

　　　　　　　　（業務期間）平成２５年　４月　１日～平成２６年　３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、坂本禎男、芝　正純、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高橋久富

　　　　　　　　　　　　　　NPO職員 高橋静雄

　　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

　　　　　　　　　　　　　　　県立海南高校ＳＳＨ研究受入

1. キノボリトタテグモ巣数調査
2. 和歌山県環境学習アドバイザ委託事業（丸嶋理事、住野理事、

有本理事）

平成25年4月26日

県立向陽中学２年春の遠足受入　　丸・住・有

　　　　　　　　平成25年6月1日

東貴志コミセン「ほたる祭り」講師　　　　有

　　　　　　　　平成25年6月10日

海南市立北野上小学校環境学習（孟子）　　有

　　　　　　　　平成25年6月24日

打田有機農業の会水田観察会　　　　　　　有

　　　　　　　平成25年7月5日

孟子奥の谷生き物調査　　　　　　　　　　　有

　　　　　　　　平成25年7月8日

　仙渓学園環境相談　　　　　　　　　　　　　有

　　　　　　　　平成25年7月16日

　打田有機農業の会水田観察会　　　　　　　有

1. 和歌山大学システム工学部インターンシップ受入

　　　　　　　　　平成25年8月7日　　海南市わんぱく公園業務体験

　　　　　　　　　平成25年8月8日　　孟子不動谷トンボ類調査

　　　　　　　　　平成25年8月9日　　孟子不動谷猛禽類調査

　　　　　　　　　平成25年8月10日　 海南市わんぱく公園業務体験

1. 平成２６年度事業
2. 法人独自事業

　　　・第14回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園

平成25年7月6日　　　17名参加

　　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　・七草粥（わんぱく公園にて）

平成27年1月4日　　　35名参加

　　　・チームエナセーブ田植え体験

平成26年6月22日　　 110名参加

　　　　　平成26年田植え体験は、従来の棚田むすびの会と協働による早乙女田植えに加えて、（社）日本ユネスコ協会連盟と、ダンロップ株式会社により結成された「チームエナセーブ」が参加され、参加者110名による盛大な田植え体験となりました。

・未来遺産プロジェクト　県立向陽中学理科部

　　　　（テーマ）孟子不動谷のチョウ相調査

　　　　（実施内容）平成26年4月～平成27年2月の間１回/月のスパンで調査を行いました。

　　　　　　　　　　平成26年4月～平成25年11月・・・不動谷内のチョウ成虫の個体数調査

　　　　　　　　　　平成26年12月～平成27年2月・・・向陽中学情報処理室でチョウ調査の

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 データの整理及び、第4回生物多様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 性フォーラム発表用のＰＰＴ作成

　　（２）助成事業

　Ⅰ、　あいおいニッセイ損保助成

　　　　花王みんなの森づくり助成

* 1. 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第４回生物多様性フォーラム

（開催日時）平成27年3月1日　　　　１３時

（会場）和歌の浦アートキューブ

（参加者）113名

（開催内容）

　　((第1部))調査研究発表

　　　　未来遺産登録地の海南市孟子不動谷で、自然観察や動物調査研究を行っている学生の皆さんによる研究発表会を行いました。

　　　・県立向陽中学校理科部（孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト）

　　　　　孟子不動谷のチョウ相センサス調査（2004年との比較検討）

　　　・海南市わんぱく公園わんぱくクラブＢチーム

　　　　　　孟子での両生類観察について

　　　・国立大学法人和歌山大学システム工学部

　　　　　　イシガメの行動調査研究

　　　　　　孟子不動谷のトンボ相調査研究

　　　　　((第2部))パネルディスカッション

身近な生き物と触れ合う楽しさを広めよう！

　　　　　　　　第1部の発表者の子ども達と和歌山県の学識者の方々とのディ

スカッションを行いました。

　　　　　　中島敦司先生（国立大学法人和歌山大学システム工学部教授）

　　　　　　原　祐二先生（国立大学法人和歌山大学システム工学部准教授）

　　　　　　玉井済夫先生（南紀生物同好会会長）

　Ⅱ、地球環境基金助成（未来遺産登録地孟子不動谷トンボ相復活＆人材育成事業）

　　　公益信託経団連自然保護基金（日本ユネスコ協会未来遺産登録地・孟子不動谷トンボ相保全事業）

　　（事業目的・概要）

1. 孟子不動谷が、未来遺産登録地となった主要因の一つである孟子不動谷の豊かなトンボ相の保全
2. 地元の小学生を保全活動に招聘することによる地元住民の啓蒙と活性化
3. 県下の国立大学である和歌山大学との協働による若いトンボ類調査員の育成

　　（事業場所）

　　　　和歌山県海南市孟子不動谷

　　（事業の具体的な目的）

　　　　平成10年2月設立以降孟子不動谷内耕作放棄地を地権者より借り受けて掘削・管理してきた水辺ビオトープ（とんぼ池）が、イノブタによる池畔の破壊や、外来種・アメリカザリガニによる池内の植生の食害等の要因により、水辺ビオトープ（とんぼ池）内の多様性が貧弱になりました。平成25年に行った県立向陽中学理科部の皆さんによるトンボ調査の結果、冬季とんぼ池で越冬するトンボ幼虫（ヤゴ）の種類数は１０年前のデータと変わりがないものの、個体数が激減していることが明らかになりました。その調査結果を受けて、とんぼ池を利用するトンボ類の種類数が減少しないうちに、個体数を回復させることを目的にして、水辺ビオトープ（と

んぼ池）の改修を行いました。

また、地元孟子にある海南市立北野上小学校５年生の環境学習の一環として、水辺ビオトープ（とんぼ池）におけるアメリカザリガニの駆除を行いました。最後に、和歌山県唯一の国立大学法人である和歌山大学システム工学部の１、２年生の皆さんを対象として、孟子不動谷内のトンボ類の調査を行う傍ら、若いトンボ類調査員育成を目的としてトンボ類分類法の講習会を開催しました。

　Ⅲ、花王みんなの森づくり活動（孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト

　　　　　　　　　　　　　　　　～伝えよう未来に、広めよう地域に～）

　　（事業目的）・植樹活動：地域で減少した生き物（ウラナミアカシジミ）を復活させるための植樹

　　　　　　　 ・環境教育活動：生き物と生き物の関係を理解した森づくり

　　（事業箇所）海南市孟子不動谷

　　　　平成26年3月～平成27年2月

孟子不動谷のチョウのモニタリング（向陽中学）
平成27年2月22日　　　　　　　孟子不動谷にクヌギの植樹

　　　　平成27年3月30日

孟子不動谷にシジュウカラ用の巣箱架設

　　　　平成27年3月1日

第4回生物多様性フォーラム（アートキューブ）

（３）指定管理事業

　　　　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

　　　　　　　　（業務期間）　平成２６年４月１日～平成２７年３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、坂本禎男、芝　正純、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高橋久富

　　　　　　　　　　　　　　NPO職員 高橋静雄

　　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

　　　　　　　　　　　　　　県立海南高校ＳＳＨ研究受入

ツメレンゲ株数調査

（４）和歌山県環境学習アドバイザ委託事業（丸嶋理事・住野理事・有本理事）

平成26年4月23日（木）

向陽中学校2年生遠足受入（丸嶋、住野、有本）

平成26年6月27日（金）北野上小学校孟子環境学習（有本）

平成26年7月13日（日）和歌山市府中環境学習（有本）

平成26年7月29日（火）北野上小学校孟子環境学習（有本）

平成26年7月30日（水）紀ノ川市打田環境学習（有本）

平成26年8月20日（水）紀ノ川市打田環境学習（有本）

平成26年9月26日（金）高野口小学校環境学習（有本）

平成26年10月3日（金）北野上小学校環境学習（有本）

1. 平成２７年度事業
2. 法人独自事業

　　　・第15回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園

平成27年7月5日　　　21名参加

　　　　　　　　　大会運営：県立向陽中学理科部

　　　・七草粥・小豆粥（わんぱく公園にて）

平成28年1月7日　　　26名参加

　　　・チームエナセーブ事業

田植え体験　　　平成27年6月13日　　　　　　　 110名参加

稲刈り体験　　　平成27年10月10日　　　　　　　 80名参加

　　　　　平成27年度は、昨年度に引き続き（社）日本ユネスコ協会連盟と、ダンロップ株式会社により結成された「チームエナセーブ」が参加され、田植え体験110名、稲刈り体験80名が参集し盛大に開催されました。

・未来遺産プロジェクト　県立向陽中学理科部

　　　　（テーマ）孟子不動谷の両生・爬虫類調査

　　　　（実施内容）平成27年4月～平成28年2月の間１回/月のスパンで調査を行いました。

　　　　　　　　　　平成27年4月～平成27年11月・・・不動谷内の両生爬虫類の個体数調査

　　　　　　　　　　平成27年12月～平成28年2月・・・向陽中学情報処理室で調査のデータ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　整理及び、第5回生物多様性フォー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ラム発表用のＰＰＴ作成

　　（２）助成事業

　Ⅰ、　あいおいニッセイ損保助成

　　　　花王みんなの森づくり助成

　　　　独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成

* 1. 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第５回生物多様性フォーラム

（開催日時）平成28年2月28日　　　　１２時

（会場）貴志川生涯学習センターかがやきホール

（参加者）321名

（開催内容）

　　((第1部))基調講演

　　　　　　題目：日本における生物多様性保全の現状について

　　　　　　演者：鷲谷いづみ中央大学理工学部教授

　　((第2部))

　　　　　　オープニングセレモニー　海南市わんぱく公園「もうこさとやまよう

ちえん」

調査研究発表

　　　　　　　　　　未来遺産登録地の海南市孟子不動谷及び海南市北野上地区で、自然

観察や動物調査研究を行っている学生の皆さんによる研究発表会

を行いました。

　　　　・海南市わんぱく公園わんぱくクラブＢチーム

　　　　　　孟子不動谷でのトンボ類の観察について

　　　　　　　・和歌山県立向陽中学校理科部（孟子不動谷生物多様性活性化プ

ロジェクト）

　　　　　　孟子不動谷における両生爬虫類調査について

　　　　・海南市立東海南中学校１年生・宗　尚輝君

　　　　　　海南市北野上地区で繁殖するアオバズク（ふくろう科）の調査

研究結果

　　　　・国立大学法人和歌山大学システム工学部

　　　　　　海南市孟子における1998年～2014年におけるトンボ相の変

遷について

　　((第3部))パネルディスカッション

今回は、子ども達の登壇はありませんでした。平成28年4月に制定

予定の生物多様性和歌山戦略の説明と、その戦略に則って県として保

全の取り組みをどのように展開していくかについて、和歌山県環境生

活総務課・岡田和久副室長より講演をいただき、その題目について下

記のコーディネーター及びパネラーがディスカッションを行いまし

た

（コーディネーター）　湯崎真梨子　和歌山大学教授

（パネラー）　　　　　鷲谷いづみ　中央大学教授

　　　　　　　　　　　中島敦司　　和歌山大学教授

　　　　　　　　　　　岡田和久　　自然環境室副室長

　　　　　　　　　　　珍田亮子　　留萌市議会議員

　　　　　　　　　　　有本　智　　ビオトープ孟子理事

　Ⅱ、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成

（未来遺産登録地孟子不動谷トンボ相復活＆人材育成事業）

　　（事業目的・概要）

1. 孟子不動谷が、未来遺産登録地となった主要因の一つである孟子不動谷の豊かなトンボ相の保全
2. 県下の国立大学である和歌山大学との協働による若いトンボ類調査員の育成

　　（事業場所）

　　　　和歌山県海南市孟子不動谷

　　（事業の具体的な目的）

　　　　平成10年2月設立以降孟子不動谷内耕作放棄地を地権者より借り受け、

当初同会理事が無農薬水田として稲作を行っていましたが、ここ数年稲作

を中断し放置水田となっていた耕作放棄地を「冬水田んぼ」的な水辺ビオ

トープとしての圃場整備を行い、稲作水系を主な生息環境とするトノサマ

ガエル、シュレーゲルアオガエル等の両生類や、シオヤトンボ、シオカラ

トンボ、タベサナエ等の水生昆虫類の生息環境として復元しました。

　　　　また、昨年度に引き続き国立大学法人和歌山大学システム工学部環境シス

テム学科１、２年生に参集を頂き、孟子不動谷のトンボ類の現地調査活動

と、トンボ類の分類方法の講習会を行いました。また今年度は、有本理事

が1998年の同会設立当初よりモニタリング調査を継続し取得しているト

ンボ調査結果をまとめ、1998年～2016年18年間で増加傾向にある種、

減少傾向にある種、個体数が横ばいの種等を抽出することで、孟子不動谷

のトンボ相の変遷についての分析を行い県下有数の学術研究会・南紀生物

同好会の機関誌「南紀生物」に投稿を行いました。

　Ⅲ、花王みんなの森づくり活動（孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト

　　　　　　　　　　　　　　　　　　～伝えよう未来に、広めよう地域に～）

　　（事業目的）・植樹活動：同会法人が地権者より借用し

　　　　　　　 ・環境教育活動：生き物と生き物の関係を理解した森づくり

　　（事業箇所）海南市孟子不動谷

　　　　平成27年3月～平成28年2月　　孟子不動谷の両生爬虫類のモニタリン

グ（向陽中学）
平成28年2月27日　　　　　　　孟子不動谷にクヌギの植樹（わんぱく

Ａ活動日）

　　　　平成28年2月28日　　　　　　　第5回生物多様性フォーラム（かがや

きホール）

（３）指定管理事業

　　　　　　　(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業

務を行いました。

　　　　　　　　（業務期間）平成２７年　４月　１日～平成２８年　３月３１日

　　　　　　　　（体制）　　顧問　　北原敏秀

　　　　　　　　　　　　　　園長　　有本　智

　　　　　　　　　　　　　　GM　　北原実恵子

　　　　　　　　　　　　　　事務職員　偉士大　郁子

　　　　　　　　　　　　　　植栽職員　山本昌寛、嶋田　實

　　　　　　　　　　　　　　NPO職員 樫尾弘子、土橋雅子、山鷲仁

　　　　　　　　（業務内容）　公園施設の運営管理（建物設備管理、植栽管理等）

　　　　　　　　　　　　　　イベント運営（定例イベント、自主イベントその他）

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱく公園友の会運営

　　　　　　　　　　　　　　　わんぱくクラブ運営

1. 和歌山県環境学習アドバイザ委託事業（有本理事）

平成27年4月24日　向陽中学校2年生遠足受入（有本）

平成27年6月 3日 北野上小学校孟子環境学習（有本）

平成27年6月 6日　 東貴志ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰホタル観察（有本）

平成27年6月17日　紀の国森づくり塾講師（有本）

平成27年7月 2日 生石高原自然塾（有本）

平成27年7月9日　　北野上小学校田んぼの生き物調査（有本）

平成27年9月8 日 子育て広場「バッタ観察」（有本）

平成27年10月29日　北野上小学校孟子環境学習（有本）

平成28年2月14日　　橋本里山学校（芋谷）ヤゴ観察会（有本）

５、平成２８年度事業

　未来遺産運動「孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト」

　　　哺乳類調査　和歌山県立向陽中学校理科部30名

　　　　　（平成28年4月～平成28年11月現地調査実施）

　地球環境基金事業

　　　トンボ相調査及びトンボ分類法学習会　　和歌山大学生10名

　　　　平成28年6月～12月　現地調査実施

　わんぱくクラブＢコース自然観察活動（平成28年4月～11月月１回）

　もうこさとやまようちえん活動　　　　　（　〃　）

　チームエナセーブ活動　平成28年6月12日　田植え体験

　第27回全国トンボ・市民サミット和歌山大会エクスカーション

　　　平成28年10月1日　　　　　　86名参加

孟子不動谷位置図面

